

No.	B06
タイトル	大分駅付近連続立体交差事業における大道陸橋撤去時の渋滞対策
所属・名前	大分県 土木建築部 都市・まちづくり推進課 松木 一優
キーワード	① 連続立体交差事業 ② 渋滞対策 ③ 交通円滑化検討部会
<p>大分駅付近連続立体交差事業は、道路を鉄道と立体交差化することにより都市交通を円滑化し大分駅周辺地域の都心機能強化の役割を担う事業であり、平成14年12月に事業に着手した後に事業区間内の13箇所の踏切を撤去し、平成24年3月にJR大分駅の完全高架開業を迎えた。</p> <p>高架化にあたっては、日交通量5万台を超える陸橋(跨線橋)を撤去する際の渋滞対策が大きな課題であったことから、行政並びに民間の関係機関で構成される「交通円滑化検討部会」を設置し、交通処理対策の検討を行った。対策としては、迂回路の整備や問題のある交差点の改良などのハード対策や時差出勤やパークアンドライド等の公共交通機関への乗換えを呼びかけるソフト対策に取り組むとともに、それらの施策について多様な広告媒体によって周知活動を行った。</p> <p>これらの対策によって、大きな交通の混乱が起きることなく陸橋を撤去することができた。</p>	